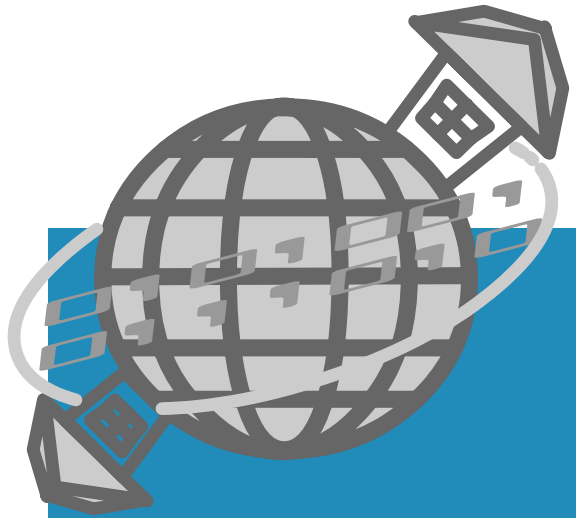


# 第5章

## 家族とのコミュニケーション



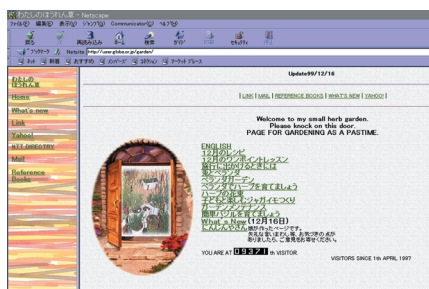
# 第5章

## 家族とのコミュニケーション

### 1. 親子でホームページづくり

親子でホームページづくりを通してコミュニケーションを図っている石黒さん親子のようすをご紹介します。

最初はお母さんがウェブサイトをつくるのを小学校のお嬢さんが見ていて興味を持ち、やってみたいと言い出したのがお嬢さんのサイトをつくるきっかけでした。どんなサイトにするかを親子でいろいろ相談しました。お母さんは情報提供型サイトと来訪者参加型サイトがあることを説明しました。石黒さん親子のフロントページを見てみましょう。



(<http://user.globe.or.jp/garden/>)

【にんじんやさん】のサイトを見てみましょう。

他のサイトをリンクしたものもあり、すべてお嬢さんがつくったものではありませんが、小学生らしい発想が見えます。

最初は、お嬢さんの意見で素材集のサイトにすることにしました。たくさんの方の来訪者があってアクセスカウントが増えるのが目的でしたが、あまり芳しくなかったのが、ゲームのサイトに変えることにしたようです。ゲームをつくるにはどうしたらよいかお母さん

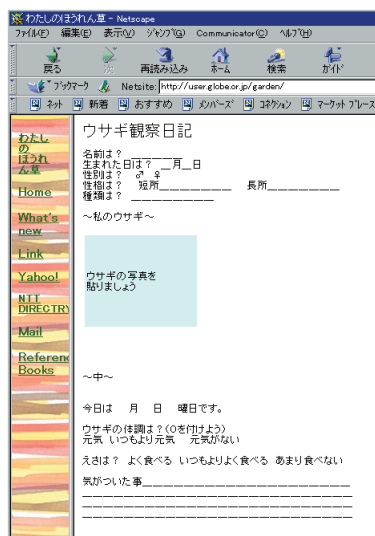
お嬢さんのページは【にんじんやさん】です。「娘が作ったページです。失礼な言いまわし等、お気づきの点がありましたら、ご意見をお寄せください」と子どもの発信へのお母さんの配慮が感じられます。



は相談を受けたので、一緒に考え、OGI という言語でできていることが分かったので参考書を買って調べました。ところが、自作のOGIは今のプロバイダが禁止している事が分かったので、お嬢さんが比較的自由にできるプロバイダをメール友だちから教えてもらいそこに移りました。プロバイダとの契約は会費の引き落としがあるのでお母さんがしましたが、お嬢さんしか使わないプロバイダということで、利用料はお嬢さんのお小遣いを充てることにしました。

たくさんの人に見てもらうには有意義な情報を提供するのがよいというお母さんのアドバイスにより、お嬢さんはうさぎに関する情報のサイトをつくっています。

「つくってみよう！ウサギの観察日記」をクリックしてみました。



ホームページは「ホームページビルダー」という作成ソフトを使っています。操作方法で、参考書を見て分からないところはお母さんに聞くようにしています。最初は、「参考書通りとにかくやってみなさい」というお母さんのアドバイスで1ページつくりました。読んでいる内容が全く分からなくても興味があるのでどんどん覚えて、1ページつくり終えるころにはだいたいつかめたようです。プロバイダへのサイトの登録は、プロバイダごとに設定が違っていることが多く、初期設定はお母さんが中心になってお嬢さん

と一緒にしました。特にプロバイダを変えたときはそのサイトで接続方法を確認したにもかかわらず何回も失敗しましたが、時間をおいてトライすることを繰り返したり、細部まで間違いがないか見直したりして、最終的にはプロバイダにサイトを送ることができました。お母さんは、がんばったことがお嬢さんにとってよい教育になったと思っています。最近、参考書の読み方もお嬢さんは分かってきたようです。